提出順	17	発言順	17	令和2年2月20日 午前・午後 11時45分受領

（ /枚中No. / ）

２０２０年　２月２０日

安曇野市議会議長　召田　義人　様

安曇野市議会議員　臼井　泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　２年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	２０分
答弁を求める者	■市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　■財政部　□市民生活部　□福祉部 □保健医療部　■農林部　■商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	安曇野市の持続可能な農業について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1　農業の後継者不足、農業者の高齢化、農村の衰退、輸入自由化と食糧自給率の低下、食の安全・安心が脅かされる事態が進んでいる日本の農業の現状をどうとらえ、どう評価するのか。

2　この日本の中の安曇野市の農業をどうとらえ、どう評価するのか。

3　安曇野市の農業の後継者不足、農業者の高齢化をどう解決していくのか。

4　農業も農村も衰退していってしまう現状どう解決していくか。

5　日米貿易協定やＴＰＰ11の安曇野市への影響をどのように試算し、安曇野市の農業の発展のために、国、県、市の各レベルでの取り組みを合わせてどのような方策を考えているか。

6　米どころ安曇野として、米の生産数量目標の配分に政府が関り、受給と価格安定に責任を果たすと共に、米直接支払制度の復活・所得補償を政府に迫るべきではないか。

7　「安心・安全な安曇野の農産物」を前面に出したブランド力の強化を目指してほしいがどうか。

8　国連「家族農業の10年」が昨年から始まった。家族農業の支援と家族農業が目指す持続可能な農業、安全・安心の農作物、生態系への配慮、食料自給、国土保全など多面的機能の重視等をさらに推進するべきではないか。

9　農業と商工業の連携の場をどう強化するか。

10　消費税率の５％への引き下げとインボイス制度の導入反対を押し出すべきではないか。